

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年2月25日(2010.2.25)

【公表番号】特表2002-512190(P2002-512190A)

【公表日】平成14年4月23日(2002.4.23)

【出願番号】特願2000-544324(P2000-544324)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/10	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/127	(2006.01)
A 6 1 K	9/20	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	31/44	(2006.01)
A 6 1 K	31/4545	(2006.01)
A 6 1 K	31/455	(2006.01)
A 6 1 K	31/465	(2006.01)
A 6 1 K	47/06	(2006.01)
A 6 1 K	47/16	(2006.01)
A 6 1 K	47/26	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/10	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/127	
A 6 1 K	9/20	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	31/44	
A 6 1 K	31/4545	
A 6 1 K	31/455	
A 6 1 K	31/465	
A 6 1 K	47/06	
A 6 1 K	47/16	
A 6 1 K	47/26	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	39/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	31/455	
A 6 1 K	31/44	
A 6 1 K	31/465	
A 6 1 K	31/44	

【誤訳訂正書】**【提出日】**平成21年12月25日(2009.12.25)**【誤訳訂正1】****【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0254**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0254】**

3. 原発性腸細胞におけるニコチン酸とニコチニアミドによる抗腫瘍物質の成長阻害作用の中和

大腸の潜在性細胞は、若干の変更を加えて Boot *et al.* (1995) の方法にしたがって単離した。取り除いた大腸を断片に切断し、数回洗浄した後、最終的に部分に切断し、コラゲナーゼとディスパーゼで消化した。その後、懸濁液中に残存する大きな組織片を沈澱させ、上清をデカントし、蓄えた。ペレットは、再び培地で激しく振盪して消化し、別の潜在性細胞を放出させた。沈降後、上清を再度除き、最初の画分とあわせ、潜在性細胞を 50 × g で遠心分離した。さらに洗浄した後、遠心分離した潜在性細胞を培養培地中に懸濁し、あらかじめコラーゲンでコートした 24 - ウェルの培養皿にウェル当たり 800 細胞の密度で接種した。細胞は、92.5% の空気と 7.5% の CO₂ を有する飽和水蒸気中で 37 ℃ で培養した。栄養培地の 50 % は、2 日ごとに取り替えた。試験物質は、潜在性細胞をプレートして 48 時間後に加えた。それらでの処理は、全部で 4 日間続けた。